



大友 信秀 教授(人間社会学域 法学類)

## 「自分をブランディングしてみませんか？」

平成23年6月13日～ 中央図書館で展示中

第9回



平成20年にスタートし、教員から教員へ、リレー形式で続いてきている教員おすすめ図書コーナーです。9番目のバトンを受けてくださったのは、法学類の大友信秀先生です。

学生のための読書案内という企画でお奨めの本をリストアップするように依頼され、いろんなことを考えてみました。まず、大学生に奨めるべき本ってどんなものだろう？自分は大学生のときに、あるいはそれまでに、あるいはその後に、どんな本を読んできたんだろう？もう一度大学生に戻れるとしたら、自分は、どんな本を真っ先に読むんだらう？自分が大学生なら、教員にどんな本を奨めてもらうことがうれしいんだらう？

ふだん大学で授業をしていると、専門的な勉強の前に、もっと大切なことを学ぶべき学生が大勢いて、そういった学生が自分の置かれている状況に気づいていない姿を見て歯がゆい（もっとわかりやすく言うと、「痛い」状態にいる学生を見るのがつらい）思いをしている自分があることに気づきました。

みなさんの周りにはたくさんの学びの場、学びの手段があるのに、まじめな人ほど、常識的にみんなが従う場や方法に縛られてしまっていないませんか？つまり、大学に入って、入った後は授業に出る。そうすると、社会に出るために必要なことが学べる。だから、それ以外のことには関心を持たなくて良いと考えていませんか？

私は法学がそもそもの専門ですが、最近では、ブランディングを指導するコンサルタントとしての仕事もしています。ブランディングは、簡単に言うと、自分の強みを理解・把握して、それを最も活かせるマーケットにつなげることで新しいビジネスを作る、というテクニックです。コンサルタントをしていると、当たり前ですが、社会で生きていくために必要なことに嫌でも気づかされます。世の中で成功するためには大学を出ることは必ずしも必要ない、とい

うよりも、大学で学んだことが社会に出た後の成功にはほとんどつながっていない、ということに気づかされました。

そこで今回は、学生のみなさんに、大学にいただけではなかなか気づかない、そういうことに気づききっかけになる本をいくつか紹介しようと思います。実戦で役立つ本から、ジワジワと自分の物の考え方を変えるようなものまで幅広く見繕ったつもりです。ふだんあまり本を読まないという方にも関心を持っていただけるように、漫画も一つ選んでみましたので、手にとってみてください。

詳細は、展示コーナーまたは図書館Webサイトをご覧ください。

	書名(著者, 出版事項)
1	<b>ビル・ゲイツの面接試験: 富士山をどう動かしますか?</b> (ウィリアム・パウンドストーン著, 青土社, 2003.7)
2	<b>まず、ルールを破れ: すぐれたマネジャーはここが違う</b> (マークス・バッキンガム, カート・コフマン著, 日本経済新聞社, 2000.10)
3	<b>20歳のときに知っておきたかったこと: スタンフォード大学集中講義</b> (ティナ・シーリング著, 阪急コミュニケーションズ, 2010.3)
4	<b>伸びる30代は、20代の頃より叱られる</b> (千田琢哉著, きこ書房, 2010.9)
5	<b>プロフェッショナルプレゼン。相手の納得をつくるプレゼンテーションの戦い方。</b> (小沢正光著, インプレスジャパン, 2008.9)
6	<b>奇跡力</b> (井上裕之著, フォレスト出版, 2010.10)
7	<b>バカな職場: それでも成果を上げる心理学: なぜ会社では不条理が起こるのか</b> (渋谷昌三ほか著, プレジデント社, 2005.10)
8	<b>サルでも使える会議の本</b> (吉本精樹著, アスカ・エフ・プロダクツ, 2006.1)
9	<b>「ケンカ」のすすめ: 戦いの数だけチャンスがある!</b> (落合信彦著, ザ・マサダ, 2000.3)
10	<b>お金でなく、人のご縁ででっかく生きろ!</b> (中村文昭原作・ユウダイ作画, サンマーク出版, 2009.11)
11	<b>キリスト教は邪教です!: 現代語訳「アンチキリスト」</b> (F・W・ニーチェ[著], 講談社, 2005.4)
12	<b>一瞬で自分を変える法: 世界No.1カリスマコーチが教える</b> (アンソニー・ロビンズ著, 三笠書房, 2006.11)
13	<b>君たちはどう生きるか</b> (吉野源三郎著, 岩波書店, 1982.11)
14	<b>社員力革命: 人を創る人を生かす人に任す</b> (網島邦夫著, 日本経済新聞社, 2006.9)